

INFORMATION COMMUNICATION EQUIPMENT

Publication Number: 04-354446 (JP 4354446 A) , December 08, 1992

Inventors: YAMADA AKIRA

Applicants: TOKYO ELECTRIC CO LTD (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan)

Application Number: 03-130031 (JP 91130031) , May 31, 1991

International Class (IPC Edition 5): H04M-001/26H04M-011/00H04M-011/06H04N-001/32

JAPIO Class: 44.4 (COMMUNICATION--- Telephone)44.7 (COMMUNICATION--- Facsimile)

JAPIO Keywords: R131 (INFORMATION PROCESSING--- Microcomputers & Microprocessors)

Abstract:

PURPOSE: To dial an access number of an international line automatically corresponding to a country using the equipment.

CONSTITUTION: The equipment is provided with a storage means 13 storing an access number of an international line used by country, a designation means 18 designating a country using the equipment and the international communication, and a control means11 reading an access number of the international line corresponding to the country using the equipment from the storage means 13 and dialing the access number. Through the constitution above, the country using the equipment and the access number for the international communication are called automatically from the storage means 13 for the communication. (From: *Patent Abstracts of Japan*, Section: E, Section No. 1358, Vol. 17, No. 219, Pg. 97, April 30, 1993)

JAPIO

© 2000 Japan Patent Information Organization. All rights reserved.

Dialog® File Number 347 Accession Number 3989346 04-354446" JP 4354446" A"

INFORMATION COMMUNICATION EQUIPMENT " Publication Number: 04-354446 "

Inventors: YAMADA AKIRA " **Applicants:** TOKYO ELECTRIC CO LTD (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan) "

(19)日本国特許庁 (J.P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平4-354446

(43)公開日 平成4年(1992)12月8日

(51)Int.Cl. ⁸	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 M 1/26		7190-5K		
11/00	3 0 2	7117-5K		
11/06		7117-5K		
H 0 4 N 1/32		Z 2109-5C		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 5 頁)

(21)出願番号 特願平3-130031

(22)出願日 平成3年(1991)5月31日

(71)出願人 000003562

東京電気株式会社

東京都目黒区中目黒2丁目6番13号

(72)発明者 山田 明

静岡県三島市南町6番78号 東京電気株式

会社三島工場内

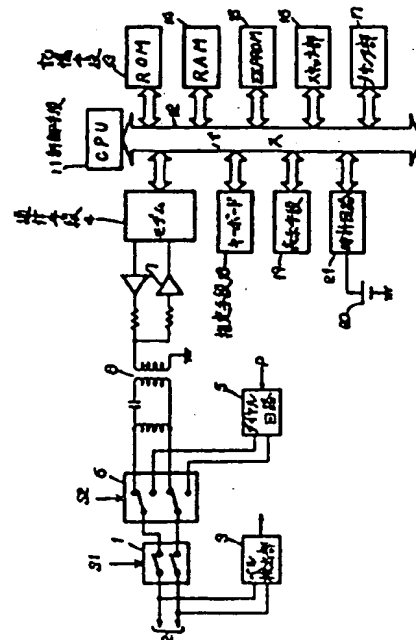
(74)代理人 弁理士 樽澤 寛 (外3名)

(54)【発明の名称】 情報通信機器

(57)【要約】

【目的】 機器使用国に対応した国際回線のアクセス番号を自動発信する。

【構成】 国別に使われている国際回線のアクセス番号を記憶する記憶手段13を備える。機器使用国および国際通信を指定する指定手段18を備える。機器使用国に対応する国際回線のアクセス番号を記憶手段13から読出し、このアクセス番号を発信させる制御手段11を備える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 通信回線に接続されて情報通信を行う通信手段と、国別に使われている国際回線のアクセス番号を記憶する記憶手段と、機器使用国および国際通信を指定する指定手段と、この指定手段で機器使用国および国際通信が指定されたとき、指定された機器使用国に対応する国際回線のアクセス番号を前記記憶手段から読出し、前記通信手段を制御する制御手段とを備えたことを特徴とする情報通信機器。

【発明の詳細な説明】

【0001】（発明の目的）

【0002】

【産業上の利用分野】 本発明は、例えば携帯型のファクシミリ装置やパソコン通信端末機等の情報通信機器に関する。

【0003】

【従来の技術】 情報通信機器として例えば携帯型のファクシミリ装置においては、出先に持参し、その出先のホテル等の部屋に設置された電話回線に接続して使用する等任意の場所で画像データの送受信が行われる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 ところで、機器を使用する国から外国に国際通信を行う場合には、その国別に使われている国際回線のアクセス番号、例えば日本からの場合には001または0041を入力した後、送信先の回線番号を入力することにより、国際回線を通じて通信が行われる。

【0005】 しかし、例えば日本から機器を外国に持参し、その国から日本や他の国に国際通信を行う場合、その機器使用国で使用されている国際回線のアクセス番号が分からなければ通信を行えない。この場合には、ホテルの電話案内で聞いたり、電話帳で調べることが必要がある。

【0006】 本発明は、このような点に鑑みてなされたもので、機器使用国別に使用されている国際回線のアクセス番号が分からなくても、機器使用国および国際通信を指定することにより、機器使用国に対応した国際回線のアクセス番号を自動的に呼出して通信を行うことができる情報通信機器を提供することを目的とするものである。

【0007】（発明の構成）

【0008】

【課題を解決するための手段】 本発明は、通信回線に接続されて情報通信を行う通信手段と、国別に使われている国際回線のアクセス番号を記憶する記憶手段と、機器使用国および国際通信を指定する指定手段と、この指定手段で機器使用国および国際通信が指定されたとき、指定された機器使用国に対応する国際回線のアクセス番号を前記記憶手段から読出して前記通信手段を制御する制御手段とを備えたものである。

【0009】

【作用】 本発明では、記憶手段に、国別に使われている国際回線のアクセス番号を記憶している。そのため、他の国に通信を行う場合、指定手段で機器使用国を指定するとともに国際通信を行うことを指定すると、前記記憶手段から機器使用国に対応する国際回線のアクセス番号を読出し、このアクセス番号を使用して通信手段で通信を行う。

【0010】

10 【実施例】 以下、本発明の一実施例の構成を図面を参照して説明する。

【0011】 図1は情報通信機器としてのファクシミリ装置の構成を示し、1はリレーで、通信回線2との接続を後述するCPU11からの制御信号S1によって切換える。なお、通信回線2には、呼出信号を検出してCPU11に出力するベル検出部3が接続されている。

20 【0012】 前記リレー1には通信回線2と通信手段としてのモデム4側またはダイヤル回路5との接続をCPU11からの制御信号S2によって切換えるリレー6が接続されている。そのダイヤル回路5はCPU11からのダイヤル発信信号Pの入力に基づいてパルスダイヤルを発信する。

【0013】 前記モデム4は、アンプ7およびトランス8を介して前記リレー6と接続されている。

30 【0014】 また、11は制御手段としてのCPUで、このCPU11のバス12には、モデム4、記憶手段としてのROM13、RAM14およびEEPROM15、送信原稿を読取るスキャナ部16、受信データを印字するプリンタ部17、指定手段としてのキーボード18、表示手段19、専用バッテリー20によってバックアップされた時計回路21が接続されている。また、バス12には、前記リレー1、6、ベル検出部3、ダイヤル回路5等も接続されている。

【0015】 前記ROM13には、図2に示すような対応表をメモリマップとして有しており、国名と、その国別に使われている国際回線のアクセス番号とを記憶している。

40 【0016】 前記キーボード18は、図3に示すように、電話番号等を入力するテンキー31、スタートキー32、ストップキー33、ワンタッチキー34、TELキー35、国際通信キー36、機能キー37、複数のファンクションキー38、39等が設けられている。さらに、このキーボード18には、液晶表示器等からなる前記表示手段19が設けられている。

【0017】 前記表示手段19は、図4に示すように、RAM14の表示駆動記憶エリアに書き込まれた時計回路21からの日付表示および時刻表示、設定された機器使用国の国名表示等の表示を行う。なお、日付表示および時刻表示は、後述する機器使用国の指定で設定された国別に対応する日付および時刻を算出して表示する。

50 【0018】 そして、前記CPU11は、キーボード18で

機器使用国および国際通信の指定がなされたとき、指定された国に対応した国際回線のアクセス番号を前記ROM13から読出して通信制御する機能を有している。

【0019】次に、本実施例の作用を説明する。

【0020】まずは、図5を参照し、ファクシミリ装置を使用する機器使用国の設定について説明する。

【0021】表示手段19で待機表示（この待機表示についての詳細は後述する）を行っている状態状態で、機能キー37を操作すると（ステップ1、2）、表示手段19で「クニ センタク」を表示する（ステップ3）。

【0022】ついで、スタートキー32を操作すると（ステップ4）、RAM14に記憶されている国名とその国で使われる国際回線のアクセス番号を読出し、表示手段19で例えば「ニボン（KDD） 001」と表示する（ステップ5）。

【0023】そして、ファンクションキー38を操作することにより（ステップ6）、ROM13に格納されている対応表から次の国名とアクセス番号を読出し（ステップ7）、読出した国名とアクセス番号とをRAM14に書き換え記憶させる（ステップ8）。

【0024】そして、ステップ5に戻って新たにRAM14に記憶された国名とアクセス番号とを表示手段19で表示する。

【0025】このように、ファンクションキー38を1回操作する毎に、次の国名とアクセス番号が表示される。

【0026】そして、機器使用国に対応する国名が表示手段19に表示されたら、スタートキー32を操作することにより、表示手段19の表示が待機表示に戻り（ステップ9）、設定が終了する。

【0027】また、表示手段19で表示される待機表示は、図6に示すように、RAM14に現在記憶されている国名を読出すとともに（ステップ11）、時計回路21から機器使用国に対応する日時および時刻を読出し（ステップ12）、RAM14の表示駆動記憶エリアに書き込み（ステップ13）、表示手段19を駆動して図4に示すような表示を行う。

【0028】次に、図7を参照し、ダイヤル発信動作を説明する。

【0029】TELキー35を操作すると（ステップ21）、ダイヤル回路5を通信回線2に接続する（ステップ22）。

【0030】機器使用国から他の国にダイヤル発信を行う場合には、国際通信キー36を操作する（ステップ23）。これにより、RAM14に設定記憶されている機器使用国の国際回線のアクセス番号を読出し、ダイヤル回

路5からアクセス番号をダイヤル発信する（ステップ24）。

【0031】続けて、テンキー31で相手先の回線番号を入力するか、予め送信先の回線番号が設定されているワンタッチキー34を操作すれば（ステップ25）、相手先の回線番号をダイヤル発信する（ステップ26）。

【0032】また、機器使用国内にダイヤル発信を行う場合には、直接テンキー31で相手先の回線番号を入力するか、ワンタッチキー34を操作すると（ステップ27）、相手先の回線番号をダイヤル発信する（ステップ28）。

【0033】そして、ダイヤル発信後に、スタートキー32を操作すると（ステップ29、30）、相手先との回線が接続されれば、ファクシミリ通信が行われる（ステップ31）。

【0034】なお、ファクシミリ装置に受話器が付属されている場合には、同様にダイヤル発信して通話を行うことができる。

【0035】以上のように、国際回線のアクセス番号が分からない国でファクシミリ装置を使用する場合でも、表示手段19に機器使用国を表示させておくことにより、国際通信を行うときに、その機器使用国に対応する国際回線のアクセス番号を読出して自動発信することができる。

【0036】

【発明の効果】本発明によれば、国別に使われている国際回線のアクセス番号を記憶する記憶手段を備えているため、機器使用国の国際回線のアクセス番号が分からなくても、機器使用国および国際通信を指定することにより、機器使用国に対応した国際回線のアクセス番号を記憶手段から自動的に呼出し、このアクセス番号を使用して通信を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の情報通信機器の一実施例を示すブロック図である。

【図2】ROMのメモリマップ図である。

【図3】キーボードの正面図である。

【図4】表示手段の正面図である。

【図5】機器使用国の設定のフローチャートである。

【図6】待機表示のフローチャートである。

【図7】通信時のフローチャートである。

【符号の説明】

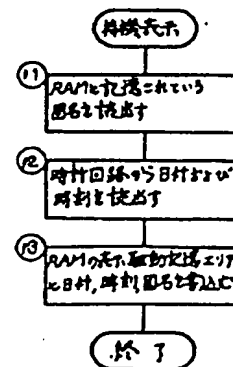
- 4 通信手段
- 11 制御手段
- 13 記憶手段
- 18 指定手段

Hand-drawn schematic diagram of a computer system. The diagram shows a CPU connected to ROM, RAM, EEPROM, a display, a keyboard, and a timer. It also includes a power supply section with a transformer, rectifier, and filter, and a pulse generator. Handwritten notes in Japanese are present, such as 'CPU部は9' (CPU section is 9) and '電源部' (power supply section).

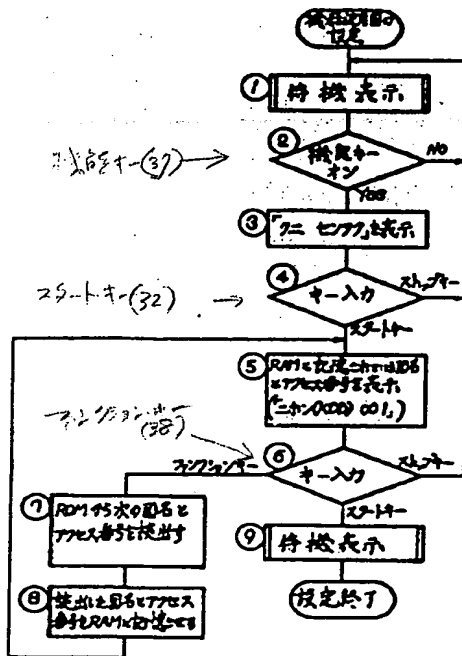
国名	開國年限の平均値
日本(大D)	001
日本(小D)	0041
イギリス	010
フランス	19
ドイツ	00
アメリカ	011
スウェーデン	009
デンマーク	009
ノルウェー	095
フィンランド	990
.....

91-03-03 11:00 ニホソ(KDD) ¹⁹

日付表示, 時刻表示 国名表示



【図5】



【図7】

